

値上げラッシュ

アベノミクスなどによって進行する急激な円安。輸入原材料が値上がりし、食料品・日用品は値上げラッシュです。



【小麦粉】日清製粉、日本製粉は業務用小麦粉の価格を6月20日出荷分から値上げ。食パン用の強力粉…25キログラムあたり145円アップ。うどん・菓子用などの中力・薄力粉…同215円。国内産小麦…同170円。

くらしは打撃



【食用油】日清オイリオグループ、Jオイルミルズは4月1日納入分から家庭用を30円値上げ（1キログラムあたり）。

【マヨネーズ】キューピー、味の素は家庭用・業務用をそれぞれ7月1日、8月1日出荷分から約3～9%値上げ。家庭用で20円～25円アップに。



【トイレットペーパー】王子製紙は5箱1パックで約10～20円の値上げに。

内部留保10兆円増

大企業は恩恵

企業名	内部留保増加額
トヨタ自動車	8,302億円
三菱UFJ	6,060億円
三井住友	5,131億円
みずほ	4,268億円
ソフトバンク	4,062億円
日本電信電話	2,756億円
三菱商事	2,703億円
日産自動車	2,451億円
りそな	2,316億円
日本たばこ産業	2,292億円

（「しんぶん赤旗」集計）

輸出ふえ、株価上昇

大企業1200社の3月期決算データで、内部留保が1年間で10兆円以上も増えていることが分かりました（「しんぶん赤旗」調べ）。

円安の効果で自動車などの輸出企業の利益が増えたことや、株価上昇の効果で銀行や保険会社の利益が増えたことが大きな要因。大企業がアベノミクスの恩恵を受けています。

本格的な 日本共産党 景気回復へ4つの改革

景気回復へいま必要なのは、消費税増税を中止し、国民の所得を増やすことです。

1 賃上げと安定雇用の拡大を

大企業の内部留保は260兆円。その1%を使うだけで月1万円の賃上げは可能です。中小企業への支援を抜本的にふやし、最低賃金を引き上げます。

2 財源は消費税に頼らない「別の道」を



増税するならまず富裕層から。賃上げと安定した雇いで経済を立て直し、安定した財源を確保する—消費税に頼らずに社会保障を充実し、財政赤字をへらしていくことは実現できます。

3 高齢者も現役も安心の社会保障を



年金削減の中止、医療費の窓口負担の引き下げなど、まずは壊された社会保障を再生。さらに最低保障年金の創設や窓口負担ゼロの医療制度などを実現します。

4 TPPストップ 健全な成長もたらす産業政策を